

ぐんぐん・ぐんぐん 関柴っ子



<今年度の合い言葉>

続けると 本物になる

～平成26年8月25日～

発行責任者 神田優子

元気にスタート 第2学期 事故0の夏休みに感謝します



学校に元気な子ども達の声に戻ってきました。夏休み中のプールは10日間（3日雨で中止のため）開きましたが、のべ717人の子どもが利用しました。（一人平均5日間）また、4年生以上は、午前中の特別水泳練習に参加した子どもたちもいました。

酷暑の中、プール当番にご協力いただいた保護者の皆様に感謝申し上げます。

第2学期は81日間。第1学期よりも授業日が9日間多い分、子どもたちのもっている力をさらに伸ばす充実の学期ともいえます。学校と家庭の連携を一層強めて、子どもたち一人一人が成長を実感できるようにしていきたいと思ひます。

始業式の中では校長から、全校生でがんばることを3つ話しました。

1 あいさつ・返事がしっかりできるようにしよう。

- 相手の目を見て、はっきりと聞こえる声で続けましょう。

2 1日1回 聞こえる声で 授業中に発表しよう。

- 自分の考えや答えを発表すると、記憶に残ってよく覚えられます。どの時間でもいいですから、少なくとも1回は発表することをがんばりましょう。

3 面倒がらずに よく読もう。

- テストの問題や文章をきちんと読みましょう。読まずに答えても本物にはなりません。



そして、今年度のハッピーデー（全校生が出席した日）の目標は、45日間ですが、1学期になんと24日間達成しました。残り21日間を第2学期中に達成したいと全校生で張り切っています。第1学期は、皆勤賞も105名（75%）でした。

夏休み中も活躍しました！！

市民水泳大会 2年生から6年生までそれぞれ1名、計5名の子どもたちが参加しました。お家の方の声援を受けながら精一杯泳ぎました。小学1・2年生男子25m自由形で、渡邊一聖君が3位に見事入賞しました。

少年の主張喜多方市大会では、「主張発表の部」で6年生の小椋史己君が優秀賞に、「家庭の日ふれあい標語の部」で5年生の小椋涼介君と小林佳菜さんが優秀賞に輝きました。

このほかにも、各種スポ少の大会での活躍、ロボットづくり講座や理科・算数講座への参加など、学校外で貴重な体験をしたこともすばらしかったです。

2学期も様々なことにチャレンジしてほしいと思ひます。



東京の玉川学園中等部の生徒による
ハンドベル演奏会

★8月26日（火）9時～10時
★本校 体育館で

是非、聴きに來てください！！
※体育館入口からお入りください。

◇4年生 大塚 麻乙 君が
転校しました。

◇1年生 田積 翔太 君が
転入しました。

